

Clos de la Bonnette クロ・ド・ラ・ボネット

地域: Rhône ローヌ

地区、村: Condrieu コンドリュウ村

造り手: Henry Guiller-Montabonnet アンリー・グイエ=モンタボネ



創業年: 1999 年

ドメーヌ解説:

1970年代からコンドリュウの地で有機栽培農業を営んできた Henry Montabonnet 氏は 1990 年代に町の北西で土地を購入しました。(右の写真からも見てとれるように)数百年前からブドウ畑として利用されていたテラス式の畑とそれを支える石壁を利用しヴィオニエの栽培を始めました。過酷な労働が強いられるコンドリュウの畑の多くは、特に第 1 次世界大戦後から徐々に放置されるようになり、90 年代に Montabonnet 氏が畑を購入したときには木が生い茂る半ば林の状態でした(写真右上)。1999 年から 12 年かけて 1.5ha のブドウ畑を開墾、苗を植え続け、ファースト・ヴィンテッジを 2009 年にリリース。幸いにも戦後から今にわたり、人の介入がなかった土地であるため、化学薬品を一切知らないこの土地で生まれたたのヴィオニエを有機栽培で育てています。あまりの急な斜面のため「コンドリュウの畑で有機栽培をしているのは Clos de la Bonnette ぐらいだ」といわれています。

栽培品種: ヴィオニエ

標高: 約 330m

自社畑面積: 2.5ha

栽培: AB 認証

平均年間生産量: 6000 本

